平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場会社名　株式会社 千趣会　　上場取引所　東 大
コード番号　8165　URL　http://www.senshukai.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田邉　道夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長　(氏名) 内藤　剛志　TEL 06-6881-3220

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	102,219	6.6	127	△88.7	340	△66.7	△55	―
23年12月期第3四半期	95,905	△1.7	1,130	△31.3	1,023	△31.6	150	△83.0

(注)包括利益　24年12月期第3四半期　590百万円　(△38.6%)　23年12月期第3四半期　961百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	△1.28	―
23年12月期第3四半期	3.48	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第3四半期	92,248	41,298	44.8	953.58
23年12月期	90,441	41,444	45.8	956.94

(参考) 自己資本　24年12月期第3四半期　41,298百万円　23年12月期　41,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	7.00	―	7.00	14.00
24年12月期	―	10.00	―		
24年12月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,500	7.5	3,300	6.2	3,500	8.2	2,850	80.0	65.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	47,630,393 株	23年12月期	47,630,393 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	4,321,414 株	23年12月期	4,321,035 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	43,309,210 株	23年12月期3Q	43,309,544 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関しましては、3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成24年１月１日～平成24年９月30日）におけるわが国経済は、欧州債務危機や中国経済の減速による世界景気の停滞、長期化する円高などにより、引き続き景気は不透明な状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、このような経済情勢の悪化や９月度の残暑や台風などの影響もあり、個人消費は足元弱含みで推移し、企業を取り巻く環境は依然として厳しい状態が続いております。

このような状況下、当社グループは、平成25年度を最終年度とする「中期経営計画」の達成に向け、グループ一丸となって取り組んでおります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、1,022億19百万円（前年同期比6.6％増）となりました。

利益面に関しましては、原価率の上昇による売上総利益率の悪化と販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は１億27百万円（前年同期比88.7％減）となりました。

また経常利益は為替差益等により３億40百万円（前年同期比66.7％減）となり、四半期純損失につきましては、投資有価証券評価損等により55百万円（前年同期は１億50百万円の純利益）となりました。

セグメント別の概況

（通信販売事業）

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は、カタログ事業における会員数増加により916億69百万円（前年同期比6.2％増）となりました。

利益面に関しましては、在庫増に伴うバーゲン販売や原価率の高いネット限定商品売上の増加等により売上総利益率は悪化いたしました。また出荷件数増加による物流関連費用の増加とカタログ関連費用の増加等による販売費及び一般管理費の増加により、営業損失は２億93百万円（前年同期は８億12百万円の営業利益）となりました。

(1) カタログ事業

当第３四半期連結累計期間の売上高は850億41百万円（前年同期比7.5％増）となりました。

(2) 頒布会事業

当第３四半期連結累計期間の売上高は66億28百万円（前年同期比7.9％減）となりました。

（ブライダル事業）

ハウスウェディングを中心とするブライダル事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は、新規出店などによる挙式件数の増加により67億79百万円（前年同期比24.4％増）となりました。また営業利益は、１億87百万円（前年同期は19百万円の営業損失）となりました。

（法人事業）

法人向けの商品・サービスを提供する法人事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は、業務受託の売上減少により28億30百万円（前年同期比12.0％減）となりました。また営業利益は、２億79百万円（前年同期比22.5％減）となりました。

（その他）

旅行・クレジットなどを主とするサービス事業と店舗でのペット用品の販売を行うペット事業を合わせた、その他の事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は、９億39百万円（前年同期比0.5％増）となりました。また営業損失は、46百万円（前年同期は29百万円の営業損失）となりました。

（注）当第３四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較については、当該変更を反映した前年同期の数値を用いております。詳細につきましては「３．四半期連結財務諸表（５）セグメント情報等」をご参照ください。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて18億７百万円増加し、922億48百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ12億20百万円増加し、457億２百万円となりました。これは、未収入金が21億21百万円、現金及び預金が17億38百万円それぞれ減少した一方で、商品及び製品が27億56百万円、その他が11億24百万円、受取手形及び売掛金が６億43百万円、有価証券が５億６百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。また、固定資産は、無形固定資産が４億55百万円、投資その他の資産が８億28百万円それぞれ減少した一方で、有形固定資産が18億71百万円増加したことにより前連結会計年度末に比べ５億86百万円増加し、465億46百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ15億37百万円減少し、397億６百万円となりました。これは、短期借入金が25億86百万円増加した一方で、ファクタリング未払金が14億９百万円、支払手形及び買掛金が８億55百万円、その他が８億42百万円、為替予約が７億39百万円、販売促進引当金が１億72百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ34億90百万円増加し、112億43百万円となりました。これは、長期借入金が34億90百万円増加したことが主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ１億46百万円減少し、412億98百万円となりました。これは、繰延ヘッジ損益が３億77百万円、その他有価証券評価差額金が２億69百万円それぞれ増加した一方で、利益剰余金が７億91百万円減少したことが主な要因であります。この結果、自己資本比率は44.8%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、平成24年７月20日に発表いたしました当期（平成24年１月１日～平成24年12月31日）の業績予想に変更はありませんが、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（追加情報）

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,500	5,762
受取手形及び売掛金	6,589	7,232
有価証券	31	538
商品及び製品	17,022	19,779
原材料及び貯蔵品	118	119
未収入金	8,802	6,680
その他	4,696	5,820
貸倒引当金	△278	△229
流動資産合計	44,482	45,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,513	13,443
土地	10,880	11,947
その他（純額）	2,056	2,929
有形固定資産合計	26,449	28,320
無形固定資産		
のれん	2,429	2,315
その他	4,506	4,164
無形固定資産合計	6,935	6,480
投資その他の資産		
投資有価証券	5,996	5,514
その他	6,921	6,549
貸倒引当金	△343	△317
投資その他の資産合計	12,574	11,745
固定資産合計	45,959	46,546
資産合計	90,441	92,248

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,282	8,427
短期借入金	3,843	6,430
1年内償還予定の社債	736	700
ファクタリング未払金	13,710	12,300
未払法人税等	146	108
役員賞与引当金	31	－
販売促進引当金	613	441
為替予約	1,941	1,201
その他	10,939	10,097
流動負債合計	41,244	39,706
固定負債		
社債	2,550	1,850
長期借入金	3,971	7,462
退職給付引当金	31	33
資産除去債務	364	317
その他	834	1,580
固定負債合計	7,753	11,243
負債合計	48,997	50,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,359	20,359
資本剰余金	21,038	21,038
利益剰余金	12,288	11,496
自己株式	△2,775	△2,775
株主資本合計	50,910	50,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,008	△739
繰延ヘッジ損益	△1,237	△860
土地再評価差額金	△7,041	△7,041
為替換算調整勘定	△177	△178
その他の包括利益累計額合計	△9,465	△8,820
純資産合計	41,444	41,298
負債純資産合計	90,441	92,248

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	95,905	102,219
売上原価	49,850	53,973
売上総利益	46,055	48,245
販売費及び一般管理費	44,925	48,117
営業利益	1,130	127
営業外収益		
受取利息	33	40
受取配当金	87	84
為替差益	39	191
その他	289	379
営業外収益合計	449	696
営業外費用		
支払利息	171	186
復興支援費用	108	－
支払手数料	－	187
その他	276	110
営業外費用合計	556	483
経常利益	1,023	340
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	139	22
特別利益合計	140	23
特別損失		
固定資産除売却損	42	95
投資有価証券評価損	372	183
貸倒引当金繰入額	183	－
ゴルフ会員権評価損	1	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	－
災害による損失	62	－
特別退職金	122	－
その他	16	－
特別損失合計	911	278
税金等調整前四半期純利益	252	85
法人税等	101	140
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	150	△55
四半期純利益又は四半期純損失（△）	150	△55

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	150	△55
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123	269
繰延ヘッジ損益	705	377
為替換算調整勘定	△7	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	－
その他の包括利益合計	810	645
四半期包括利益	961	590
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	961	590
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自平成23年１月１日 至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	通信販売事業	ブライダル事業	法人事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	86,304	5,450	3,215	94,970	934	95,905	－	95,905
セグメント間の内部売上高又は振替高	701	－	210	911	63	974	(974)	－
計	87,005	5,450	3,425	95,882	998	96,880	(974)	95,905
セグメント利益又は損失(△)	812	△19	361	1,154	△29	1,124	5	1,130

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行・クレジットなどを主とするサービス事業、店舗でのペット用品の販売を行うペット事業であります。

２．セグメント利益又は損失の調整額５百万円は、セグメント間取引消去であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自平成24年１月１日 至平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	通信販売事業	ブライダル事業	法人事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	91,669	6,779	2,830	101,279	939	102,219	－	102,219
セグメント間の内部売上高又は振替高	454	－	44	499	95	594	(594)	－
計	92,124	6,779	2,874	101,778	1,034	102,813	(594)	102,219
セグメント利益又は損失(△)	△293	187	279	174	△46	127	△0	127

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行・クレジットなどを主とするサービス事業、店舗でのペット用品の販売を行うペット事業であります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当第３四半期連結会計期間より、連結グループ内での事業譲渡に伴い、従来「その他」に区分していた事業の一部について「通信販売事業」へ報告セグメントの変更を行っております。なお、前第３四半期連結累計期間の報告セグメントは、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。